

未来へ(東中だより)

第7号 令和3年7月20日

吉野ヶ里町立東脊振中学校 校長 森田 直樹

学校教育目標 未来へ
「知性・感性・耐性」を
共に高める生徒の育成



TEL:0952-52-2529 Fax:89-2079

<https://www.education.saga.jp/hp/higashisefuri-j/>

自分へ向けたリーダーシップを 7月20日 終業式の話から

今年の始業式や入学式で、「知性・感性・耐性」を共に高めましようと話しました。新しい学年になったこの学期に、「知性」を伸ばすべく学習にしっかり取り組みましたか。基礎基本を大切にし、しっかり論理的に考え、考えたことや感じたことを表現することができたでしょうか。

「感性」は豊かになりましたか。人の思いをくみ取り、人に優しくできたでしょうか。クラスや部活動、あるいはその他の集団のチームのひとりとして、共に支えあいながら生きることができたでしょうか。

「耐性」は高まりましたか。学習に部活動に、粘り強くたくましく取り組めたでしょうか。弱い自分に負けそうになるとき、それを乗り越えようと試みてみましょうか？

余談になりますが、ある脳科学者によると、人の脳は大きなストレスに対して3つの反応パターンを示すことです。それは、Fight(戦う)か Flight(逃げる)か Freeze(固まる)かです。中学校を卒業して次のステージやそのまた次のステージに進んだとき、まれに、止まることや逃げるのが適切な場合もありますが、多くは立ち向かうことが必要となります。だからこそ、若いときにたくましさを身につけて欲しいのです。

かつてリーダーシップとメンバーシップについて話しましたが、実は、リーダーシップには2つあります。それは、「他者へ向けたリーダーシップ」と「自分へ向けたリーダーシップ」です。「自分からあいさつをする」生徒、「時間の管理ができる」生徒、「自問清掃ができる」生徒は、この「自分へ向けたリーダーシップ」が執られている人です。「自分へ向けたリーダーシップ」を別の言葉で言うと、「自律」です。

明日から夏休みです。自分で自由に使える時間が増えます。自分の中のリーダーシップを発揮して、「自律的な時間」を過ごしてください。また、部活動の県大会・九州大会に挑む生徒は悔いのない夏にしてください。何事も計画通りに進まないときには、計画に修正を加えるのも「自律」の力です。「G…学力高める時間の管理」をモットーに行動しましょう。

東中生みんなで頑張る

HGS!

H…表情豊かに よい挨拶!
G…学力高める 時間の管理!
S…精一杯の 自問清掃!

粘り強く たくましく 地区中総体 7月3日～11日を終えて



7月3日(土)から開催された、三養基・神埼地区中学校総合体育大会では、どの会場でも熱い戦いが繰り広げられました。残念ながら全ての競技を目の前で応援することは出来ませんでした。試合終了間際にポイントを手にした試合や、何度も繰り返されるシーソーゲームをものにした試合を振り返ると、最後まであきらめずに頑張る生徒の姿勢に感動させられます。来る県大会でも、「耐性」を発揮して中学生らしい試合をしてくれることと期待しています。県大会に出場する部活動の成績は以下の通りです。

☆県大会の会場など☆

- ・ソフトテニス 7/24, 25 SAGA サンライズパーク
- ・バレーボール 7/24, 26 嬉野市中央体育館
- ・卓球男子 7/24, 25 唐津市文化体育館
- ・卓球女子 7/24, 25 唐津市文化体育館
- ・剣道女子 7/24 基山町総合体育館
- ・剣道男子 7/25 基山町総合体育館
- ・ソフトボール 7/24, 25 三田川中央公園 G 神埼中・神埼中央公園 G

<団体の部>

- 男子卓球 優勝 ○女子卓球 優勝 ○ソフトテニス 準優勝 ○女子バレーボール 準優勝
- 女子剣道 3位 ○男子剣道 4位 ○ソフトボール 3位 ○男子バレーボール 3位(地区のみ)

<個人の部>

- ソフトテニス 優勝 門田幸輝・宮原優来 3位 今泉蒼生・門田大翔
- 女子卓球 優勝 副島琴音 2位 吉富愛歌 3位 山本結月 3位 青木佑衣
- 男子卓球 2位 深堀悟史 3位 池田徹平 5位 平陵太郎 6位 牟田口昊

オンライン授業の試行

早い段階で1人1台のタブレット貸与が進んでいる本町では、緊急の臨時休業時に備えて、MicrosoftのTeamsを使ってのオンラインでの授業を試行しています。試行に先立って、まずは職員の研修から始めました。そして、2回にわたる生徒の研修と7月7日の自宅でのログインテストを経て、7月14日に試行授業を行いました。



各クラス午後2コマの授業を行いました。大きな混乱もなく終わることが出来ました。生徒だけでなく、職員の多くが授業にかかわって技能を高められたことは、大きな収穫だったと思います。

2年 マナー研修 7月9日

2年生のキャリア教育の一環として、マナー研修を行いました。講師はベルアミー鳥栖のウェディングプロデューサー清水さんとウェディングプランナー榎村さんでした。



社会人として必要な挨拶や言葉遣い、特に敬語（尊敬語と謙譲語）などを丁寧に教えていただきました。電話での応対では、「笑顔と笑声」の大切さを話され、声の表情も大切だと言うことに気づかされました。



生徒の質問にも丁寧に答えていただき、電話応対やお辞儀の実演は大変参考になったことと思われま。9月の職場体験に生かされることを願っています。

ペットボトルキャップ贈呈

7月7日の生徒集会で、生徒会で収集したペットボトルのキャップが、吉野ヶ里町社会福祉協議会の寺崎事務局長に手渡されました。



生徒会美化・奉仕部の6月の活動「ペットボトルキャップを集めてワクチンを送ろう」の取り組みにより38kgのキャップが集められたということです。寺崎事務局長からは、本校生徒会の活動を高く評価していただきました。今後、キャップは発展途上国の多くの人を命を救うことになります。

差別と人権を考える

2年社会科の授業では、江戸時代の社会構造や身分について学習します。かつては「士農工商」と教えられた身分制度ですが、現在は、武士身分、町人身分、百姓身分と教科書では示されます。その中で社会から排除され差別された人々について学びます。皮革業、警察、芸能など高い技術を必要とし、大切な仕事を行いながらも差別をされた身分があったということについても学んでいきます。

本校では7月7日の社会科の学習に合わせて、道徳科でも「差別や偏見のない社会」について考えました。部落差別が現代でもなお残っていることを学習し、生徒は差別を未来に残さないためにはどうしたらいいかをじっくりと考えていました。



ふるさと読本

☆前号で「ふるさと読本」について触れましたが、今回はその続きです。記述の一部を紹介します。☆

「本町を貫く田手川は、永山川と蛤岳を源とする坂本川が松隈付近で合流し、筑後川に注ぐ延長17kmの一級河川である。脊振山地は山が浅くて集水面積が狭いため、下流域ではしばしば水不足に見舞われた。この問題を解決したのが、江戸初期の元和年間に成富兵庫茂安公が築いた蛤水道であり、その恩恵は400年を経た今も計り知れないほど大きい。

松隈から田手にかけての中流域には沖積低地と河岸段丘が広がっている。田手川は南に流れて水田を潤し、石動から大曲にかけては取水した水路や前川沿いに40余りの水車が設けられ、昭和30年代初めまで精米・製粉の動力として利用されていた。」



